

# 整形外科専門医に聞く

富山ろうさい病院  
整形外科第三部長

いとう よしあき  
伊藤 芳章



1月4日より、新しい駐車場が全面使用可能になりました

## 当院の整形外科は専門性の高い医師がそろっています



高齢化、食生活の欧米化に伴い、膝を中心とする脚の関節変形による痛みを訴える方が多くなってきています。本邦では人工関節置換術を受ける患者さんが年間10万人を超えました。手術した人工関節が約20年に渡って正常に機能するためには人工関節に精通した専門医が手術を行う必要があります。当院整形外科医師 徳永 は人工膝関節置換術に精通し、毎年新しい知識・技術を取り入れながら経験を重ねてきています。また私 伊藤 は膝の手術も行いますが特に股関節疾患を専門とし、日本で一番人工関節の手術をしている湘南鎌倉人工関節センターにて研鑽を重ねたのち当院へ赴任してまいりました。ミリ単位での正確な人工関節の設置を追求し、3Dテンプレートシステムや当院独自のデバイスを用いながら手術を行っています。当院でも人工関節手術件数は毎年増えており、その度に“痛くなくなった”“歩けるようになった”と元気に歩かれる姿を見て嬉しく思っております。

また整形外科に多い疾患部位に腰があります。腰椎の変性は腰痛のみならず、脚への痛みやしびれを引き起こすことがよくあります。平野部長 は関節リウマチと首・腰の脊椎疾患を専門にしています。非常勤ですが富山大学より 関先生 が毎週来られ、より高度な内視鏡下椎間板ヘルニア切除術や脊椎固定術に対応できるようになっています。

この時期、肩が痛くなることが多くなります。ほとんどがいわゆる五十肩であることが多いのですが、実は腱板と呼ばれる肩の筋肉が切れているかもしれません。腱板修復は関節鏡というカメラを用いて小切開で行うのが主流なのですが、当院では 瀬川 が担当します。彼は肩のみならず、関節鏡手術のスペシャリストです。

当院整形外科では各々が専門性を持って診療しています。今回は手術の話になりましたが、もちろん手術が最適な治療なのかを見極めながら診療を行っておりますので、膝肩腰の痛みでお困りの方は一度受診してみてください。

## ～人工関節の手術風景～



発行：独立行政法人労働者健康安全機構富山ろうさい病院 地域医療連携室

富山ろうさい病院だよりは、当院ホームページにも掲載しています。

【連絡先】 0765 (22) 1280 (病院代表)

E-mail: [chiki2@toyamah.johas.go.jp](mailto:chiki2@toyamah.johas.go.jp)